

報道関係者各位
プレスリリース

2021年5月
一般財団法人休暇村協会

～全国35か所の休暇村で3密回避取組みを実施中～
**自然にときめくリゾート休暇村
旅の新しいスタイル“ゼロ密のリゾート”を宣言**

全国35か所の国立・国定公園などに位置する休暇村を経営する一般財団法人休暇村協会（所在地：東京都台東区東上野、理事長：河本 利夫）は、これからもお客様、従業員、関係者など皆様の安全・安心を第一に、“ゼロ密のリゾート”を目指し日々取り組んでまいります。



緑に囲まれた休暇村婦恋鹿沢（群馬県）

<チェックイン時の感染予防対策>

全休暇村に非接触で検温できるサーマルカメラと飛沫感染防止パネルのキャッシャーガードを導入し、チェックイン時にすべてのお客様を対象に検温とご本人様確認を行っています。



飛沫防止キャッシャーガードの設置



サーマルカメラによる検温



ご本人様確認

<温泉・大浴場での感染拡大防止対策>

ご入浴の混雑時間を事前にご案内し、利用分散のご協力をお願いしています。



混雑時間案内



入場人数制限、間違わないよう
スリッパクリップを設置



一部ロッカーを閉鎖、
脱衣時一定距離を確保

<レストランでの感染拡大防止対策>

テーブル数を減らし、フロアのご利用人数に制限を設けてソーシャルディスタンスを確保。各テーブルにもアクリルパネルやついたてを設置し、飛沫感染防止対策を講じています。



ソーシャルディスタンス確保のため
テーブル数を減らし配置



飛沫感染防止のため各テーブルに
アクリルパネル等を設置



各テーブルには感染防止対策の
アイテムを設置

また、紙製使い捨てトングや小皿に盛り付けた“トングなしピュッフェ”などを実施し、間접接触を防ぐための策も講じています。



紙製の使い捨てトングを設置(通常
トングの場合も 30 分に 1 回交換)



小皿に盛り付けたピックアップ
スタイルの“トングなしピュッフェ”



マスク・手袋・フェイスシールド
着用のスタッフが取分け



全ての料理にスニーズガード設置



テイクアウトデザート



客室や好きな場所で食事ができる
テイクアウト朝食

<共用スペースの消毒・換気、スタッフの健康管理>

各休暇村館内においては、手指消毒用アルコールの設置、お客様の手に触れる箇所の消毒液でのこまめな拭上げ、定期的な換気を行っています。パブリックスペースにはCO2濃度測定器を設置、館内において必要な換気量を満たしているかを可視化する取り組みを実施しています。また、スタッフは就業前の検温及び健康チェックの実施、手洗い・うがいの徹底、指先殺菌を実施し、健康と衛生面を管理徹底し、原則としてマスクを着用させていただいています。



共用スペースのこまめな消毒を実施



客室清掃時の消毒



CO2 濃度測定器を設置

<ゼロ密度のリゾートを目指した取り組み>

休暇村公式サイト内 特集ページ <https://www.qkamura.or.jp/campaign/zero/>

◆企業概要

名称：一般財団法人休暇村協会

代表者：理事長 河本 利夫(こうもと としお)

所在地：〒110-8601 東京都台東区東上野5-1-5 日新上野ビル5階

URL：https://www.qkamura.or.jp/